

2025 年 12 月 10 日作成 Ver.1.5

《情報公開文書》

滑膜肉腫に対するエリブリン投与が ABCB1 発現に及ぼす影響についての検討

研究の概要

【背景】滑膜肉腫は若年に多く、転移が多い希少な悪性腫瘍です。薬物療法は限られており、耐性化することも問題となっています。薬物療法の一つであるエリブリンの有効性・耐性機序は明らかではありませんが、我々の研究において ABCB1 遺伝子の関与が明らかとなりました。

【目的】本研究の目的は、エリブリン投与前後における ABCB1 を含めた蛋白発現 の変化を、臨床検体に対する免疫染色により明らかにすることです。

【意義】本研究により、人体における滑膜肉腫に対するエリブリン耐性の機序に関する新たな知見を得ることが期待されます。これは、将来的な治療戦略の構築や薬剤耐性克服の糸口となる可能性があり、臨床応用の観点からも重要な意義を有します。

【方法】本研究は、滑膜肉腫に対する治療としてエリブリンを使用した患者さんを対象とします。手術・生検を施行し得られた病理検体を用いて免疫染色を行い、エリブリンの投与が滑膜肉腫に対してどのような変化を与えるかを探索します。

対象となる患者さん

本研究は下記をすべて満たす患者さんを対象とします。

- ・手術・生検を施行し、組織学的に 滑膜肉腫と確定診断された。
- ・エリブリンを投与された。
- ・エリブリン投与の前後で臨床検体が得られた。

研究に用いる試料・情報

●研究に用いる情報

下記の情報を収集します。

- ・患者背景：性別、年齢、病期
- ・病理診断名：単層型、二層型、未分化型、その他(病理診断名を収集)
- ・臨床検査：白血球、白血球分画、ヘモグロビン、血小板、TP、Alb、T-bil、AST、ALT、ALP、 γ -GTP、AMY、LDH、Cr、eGFR、Na、K、Cl、Ca、CK、CRP、グルコース
- ・画像検査
- ・治療状況：原疾患に対する化学療法歴（治療内容/投与開始日/最終投与日）、最良総合効果、原疾患に対する放射線治療歴（治療内容、最終照射日）
- ・免疫染色：既存検体を用いて ABCB1 関連蛋白(ABCB1、ABCC11、STAT5)発現を探索

●研究に用いる試料

本研究では、手術・生検で組織学的に滑膜肉腫と確定診断された患者さんのうち、薬物治療としてエリブリンを投与され、投与の前後で臨床検体が得られた症例の試料を用いて、ABCB1 を含む遺伝子発現の有無を検討します。

本研究で利用する試料・情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

外部への試料・情報の提供について

本研究では試料を免疫染色のため下記へ提供します

提供先：株式会社モルフォテクノロジー

提供方法：個人が特定できない識別コードを割り付け、ホルマリン溶液で固定した検体を、蓋を閉めた容器とビニール袋に入れ、倒れないよう緩衝材を詰めた発泡スチロールで梱包し、提出先へ常温で郵送します。

試料・情報の利用開始予定日

本研究は 2025 年 12 月 11 日より「研究に用いる試料・情報」を利用する予定です。

あなたの試料・情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。

ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。

あらかじめご了承ください。

研究実施期間

研究機関長の許可日～2027 年 8 月 31 日

研究実施体制

研究責任者	所属：長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 呼吸器内科学 氏名：福田 崇人 住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1 電話：095（819）7273
試料・情報の管理責任者	長崎大学病院 病院長

問い合わせ先

【研究の内容、試料・情報等の利用停止の申し出について】

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 呼吸器内科学〒852-8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号

電話：095（819）7273 FAX 095（819）7285

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療相談室 095（819）7200

受付時間：月～金 8：30～17：00（祝・祭日を除く）